九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

九州大学蔵『平語』について

中村, 萬里
九州大学大学院修士課程

https://doi.org/10.15017/10499

出版情報：文獻探究. 11, pp.36-41, 1983-03-15. 文献探究の会
バージョン：
権利関係：

KYUSHU UNIVERSITY

九州大学蔵『平語』について

中村萬里

九州大学文学部国語国文研究室には、『平語』と題する袋綴じ三十冊（巻一上～巻十五下）の完本が蔵する。奥書識語の類は存しない。又伝授物五冊（読物上下・五句物・炎上物・揃物）灌頂巻一冊その他も存しない。各冊の墨付は平均五十九丁。用紙は、縦二二糎、横一六糎弱。字面高一九糎強。一面十行、一行平均十四～十五字。各冊の内、巻十二下が三六丁オで最も少なく、巻十一下が七九丁オと最も多い。朱筆のハカセ吟味はあるが、発音注記（ワル・スム・ツメ・ノム）についての朱筆の加筆注記はほとんど存しない。カナや濁点は比較的多い。「上゚」がやや少なく、その代わりに「上」が対応している。書写者は不明であるが、巻十四下を除き全体はほぼ一筆である。書写年代については、近世末期以降の写と推定される。表紙に『平語』と記されていることから、横井也有写しの『平語』十五冊（横井緑時蔵）と同一ではないかと思われるが、也有本には白声がなく、白声の部分は概ね口説になっているなどその他の内部徴証から判断しても、也有本『平語』とは別のもので、後になって誰かが『平語』と書き改めたもののようである。

本稿では、従来余り紹介されていない九大本についての一報告として、そこに豊富に存する発音注記の整理をしてみたい。

その際、「安永五年九月」の浄書本といわれる尾崎家本平家正節注(1)（略称・尾崎本）、「平家正節」の転写本というよりもその草稿本や吟味本的性格を有しているといわれる京都大学蔵注(2)平曲正節（略称京大本）を参考資料として用いる。

作業の方法としては・発音注記（スム・ツメ・ノム）注(3)について、それぞれ〔I〕尾崎本と京大本と九大本、〔II〕尾崎本と九大本、〔III〕京大本と九大本、〔IV〕尾崎本と京大本とが一致する場合、〔V〕九大本のみに存するものの場合とに大きく分け、九大本の存する範囲―平物（巻一上～巻十五下）―の同一箇所での対照を主に行なう。

《発音注記対照表注(4)》

（注1） ○は一致あり、×は一致なし、※は京大本においてその語に朱及び墨の注記があることを示す。

〈〉は九大本の用例数、（）は尾崎本・京大本のそれぞれの用例数ではなく、九大本と一致した数。×(尾)は京大本と九大本との対照において、平物の範囲で、尾崎家本にその注記が全くないわけではなく、同一箇所を含めた他の箇所にその注記があることを示す。

（注2） 「ツメ」注記の例「孔雀経〔雀〕」・「ノム」注記の例「血脈〔血〕」などとあるのは、それぞれ〔 〕内の字にその注記が付されていることを示す。尚、「公達達」の右の傍線は、そこに注記があることを示す。

（注3） 〔IV〕の場合、〔I〕のものは除く。

〔Ⅰ〕 〈スム〉

注記のある字	漢語	尾崎本	京大本 墨	京大本 朱	九大本
号	号	○(2)	○(2)	○(4)	○〈7〉
后	皇后	○(1)	○(1)	×	○〈1〉
前	前司	○(2)	○(1)	○(2)	○〈3〉
事	勝事	○(2)	○*(1)	○(2)	○〈3〉
神	神器	○(4)	×	○(1)	○〈7〉
上	上東門院	○(1)	×	○(1)	○〈1〉
大	大理	○(1)	○(1)	×	○〈1〉
大	大掖	○(1)	×	○(1)	○〈1〉
大	大相国	○(2)	○(3)	×	○〈4〉
大	大宋国	○(1)	×	○(1)	○〈1〉
堂	歌堂	○(1)	○*(1)	○(1)	○〈1〉
堂	堂々	○(1)	○(1)	×	○〈1〉
童	小童	○(1)	○(1)	×	○〈2〉
綱	上綱	○(1)	×	○(1)	○〈1〉
覚	覚尋	○(1)	○(1)	×	○〈1〉
覚	守覚	○(1)	○(1)	×	○〈1〉
供	供奉	○(2)	○*(1)	○(1)	○〈2〉
宰	太宰府	○(2)	×	○(2)	○〈5〉
州	荊州	○(1)	○(1)	○(1)	○〈1〉
州	揚州	○(1)	×	○(1)	○〈1〉
者	盛者	○(1)	○*(1)	○(1)	○〈1〉
者	案内者	○(1)	×	○(1)	○〈2〉
声	高声	○(1)	×	○(1)	○〈1〉
山	(比)叡山	○(2)	×	○(3)	○〈4〉
山	育王山	○(2)	×	○(3)	○〈4〉
臣	大臣	○(1)	×	○(1)	○〈1〉
俊	昌俊	○(1)	○(1)	×	○〈2〉
次	路次	○(1)	×	○(1)	○〈1〉
禅	禅師	○(1)	×	○(1)	○〈1〉
先	先生	○(1)	×	○(3)	○〈4〉

〔Ⅱ〕

注記のある字	漢語	尾崎本	京大本 墨	京大本 朱	九大本
在	在地	○(1)	×	×	○〈1〉
前	前駆	○(1)	×	×	○〈1〉
誦	助誦	○(1)	×	×	○〈1〉
土	土木	○(1)	×	×	○〈1〉
照	遍照寺	○(1)	×	×	○〈1〉
山	金峰山	○(1)	×	×	○〈1〉
北	西北	○(1)	×	×	○〈1〉
号	号	○(4)	×(京)	×(京)	○〈7〉
后	皇后	○(1)	×(京)	×	○〈1〉
前	前司	○(2)	×(京)	×(京)	○〈3〉
事	勝事	○(2)	×(京)	×(京)	○〈3〉
神	神器	○(4)	×	×(京)	○〈7〉
神	神輿	○(1)	×	×(京)	○〈4〉
上	上古	○(1)	×(京)	×	○〈4〉
上	上東門院	○(1)	×	×(京)	○〈1〉
禅	禅師	○(1)	×	×(京)	○〈1〉
大	大理	○(1)	×(京)	×	○〈1〉
大	大掖	○(1)	×	×(京)	○〈1〉
大	大相国	○(2)	×(京)	×	○〈4〉
大	大宋国	○(1)	×	×(京)	○〈1〉
堂	歌堂	○(1)	×(京)	×(京)	○〈1〉
堂	堂々	○(1)	×(京)	×	○〈1〉
童	小童	○(1)	×(京)	×	○〈1〉
綱	上綱	○(1)	×	×(京)	○〈1〉
覚	覚尋	○(1)	×(京)	×	○〈1〉
覚	守覚	○(1)	×(京)	×	○〈1〉
宰	太宰府	○(2)	×	×(京)	○〈5〉
州	荊州	○(1)	×(京)	×(京)	○〈1〉
州	揚州	○(1)	×	×(京)	○〈1〉
者	盛者	○(1)	×(京)	×(京)	○〈1〉
者	案内者	○(1)	×	×(京)	○〈2〉
先	先生	○(1)	×	×(京)	○〈4〉
声	高声	○(1)	×	×(京)	○〈1〉
殿	殿中	○(1)	×(京)	×	○〈1〉
中	天中	○(1)	×	×	○〈1〉
西	信西	○(1)	×(京)	×(京)	○〈2〉
山	(比)叡山	○(2)	×	×(京)	○〈4〉
山	育王山	○(2)	×	×(京)	○〈4〉
臣	大臣	○(1)	×	×(京)	○〈1〉
俊	昌俊	○(1)	×(京)	×	○〈2〉
次	路次	○(1)	×	×(京)	○〈1〉
禅	禅師	○(1)	×	×(京)	○〈1〉
供	供奉	○(2)	×(京)	×(京)	○〈2〉

〔Ⅲ〕

注記のある字	漢語	尾崎本	京大本 墨	京大本 朱	九大本
玄	玄上	×	×	○(2)	○〈3〉
前	前途	×	○(1)	×	○〈1〉
従	徒従	×	×	○(1)	○〈1〉
十	十二律	×	×	○(1)	○〈1〉
族	花族	×	×	○(1)	○〈1〉
実	実定	×	×	○(3)	○〈3〉
上	上林苑	×	×	○(1)	○〈1〉
上	上西門院	×	×	○(1)	○〈1〉
大	大元	×	×	○(1)	○〈1〉
大	大内	×	×	○(2)	○〈2〉
代	後代	×	×	○(2)	○〈3〉
条	一条	×	○(1)	×	○〈1〉
田	田光	×	×	○(1)	○〈1〉
同	同輿	×	×	○(1)	○〈1〉
童	童形	×	×	○(2)	○〈2〉
闘	開闘	×	○(1)	×	○〈1〉
盤	盃盤	×	×	○(1)	○〈1〉
殿	殿	×	○(3)	○(1)	○〈4〉
殿	殿下	×	×	○(1)	○〈1〉
白	啓白	×	×	○(1)	○〈1〉
睨	脾睨	×	×	○(1)	○〈1〉
武	廉承武	×	×	○(1)	○〈2〉

注記のある字	漢語	尾崎本	京大本 墨	京大本 朱	九大本
貌	容貌	×	×	○(1)	○〈1〉
雀	朱雀	×	×	○(1)	○〈2〉
衆	朝衆	×	○(1)	×	○〈1〉
書	艶書	×	○(1)	×	○〈1〉
帝	童帝	×	×	○(1)	○〈1〉
次	次官	×	○*(1)	○(2)	○〈2〉
妨	押妨	×	×	○(1)	○〈1〉
号	号	×(尾)	○(2)	○(4)	○〈7〉
后	皇后	×(尾)	○(1)	×	○〈1〉
前	前司	×(尾)	○(1)	○(2)	○〈3〉
事	勝事	×(尾)	○*(1)	○(2)	○〈3〉
神	神器	×(尾)	×	○(1)	○〈7〉
神	神輿	×(尾)	×	○(1)	○〈4〉
上	上古	×(尾)	○(3)	×	○〈4〉
上	上東門院	×(尾)	×	○(1)	○〈1〉
大	大理	×(尾)	○(1)	×	○〈1〉
大	大掖	×(尾)	×	○(1)	○〈1〉
大	大相国	×(尾)	○(3)	×	○〈4〉
大	大宋国	×(尾)	×	○(1)	○〈1〉
堂	歌堂	×(尾)	○*(1)	○(1)	○〈1〉
堂	堂々	×(尾)	○(1)	×	○〈1〉
堂	堂上	×(尾)	×	○(1)	○〈1〉
地	地	×(尾)	×	○(2)	○〈3〉
童	小童	×(尾)	○(1)	×	○〈2〉
綱	上綱	×(尾)	×	○(1)	○〈1〉
覚	覚尋	×(尾)	○(1)	×	○〈1〉
覚	守覚	×(尾)	○(1)	×	○〈1〉
供	供奉	×(尾)	○*(1)	○(1)	○〈2〉
宰	太宰府	×(尾)	×	○(2)	○〈5〉
州	荊州	×(尾)	○(1)	○(1)	○〈1〉
州	揚州	×(尾)	×	○(1)	○〈1〉
者	盛者	×(尾)	○*(1)	○(1)	○〈1〉
者	案内者	×(尾)	×	○(1)	○〈2〉
先	先生	×(尾)	×	○(3)	○〈4〉
声	高声	×(尾)	×	○(1)	○〈1〉
山	(比)叡山	×(尾)	×	○(3)	○〈4〉
山	育王山	×(尾)	×	○(3)	○〈4〉
臣	大臣	×(尾)	×	○(1)	○〈1〉
俊	昌俊	×(尾)	○(1)	×	○〈2〉
次	路次	×(尾)	×	○(1)	○〈1〉
禅	禅師	×(尾)	×	○(1)	○〈1〉

〔Ⅳ〕

注記のある字	漢語	尾崎本	京大本 墨	京大本 朱	九大本
条	三条	○(1)	×	○(1)	×
閣	舞閣	○(1)	○(1)	×	×
供	供仏	○(1)	○(1)	×	×
顕	顕密	○(1)	×	○(1)	×
塔	堂塔	○(1)	×	○(1)	×
西	信西	○(1)	○(1)	×	×(九)

〔Ⅴ〕

	漢語及び和語	巻
賀	賀王恩	(5上)
河	東河	(6上)
還	還着	(14上)
幸	臨幸	(3上)
群	群田	(14下)
全	実全	(12上)
士	方士	(12上)
神	神木	(4上)
神	神膳	(6上)
侍	諸侍	(4下)
上	上洛	(2上その他)
上	炎上	(2上その他)
上	雲上	(3下)
上	波上	(4下)
承	天承	(2上)
承	廉承武	(2下その他)
尋	覚尋	(10上)
潯	潯陽	(10上)
大	大宗	(3上その他)
大	大剛	(11上)
大	大夫	(2下その他)
善	善逝	(5上)
善	善政	(10上)
臺	夏臺	(5下)
臺	姑蘇臺	(13上)
た	〈旧苔〉（きうたい）	(7上)
地	神地	(4下)
弟	弟伍倫	(4上)
挺	百挺	(5上)
塵	煙塵	(13上)
房	阿房羅刹	(11下)
房	椒房	(13上)
夫	大夫	(2下その他)
二	南北二京	(3上)
救	救療	(9上)

人		武	覚	官	古	衆		丞	者	酸	璽	府	生	焼	政	勝	山		暑	殿		嫡	着	は	器	千	詮	清	車	艟	通	す	と
降人	人天	廉承武	覚尋	贈官	上古	禅衆	〈尼衆（じゅう）〉	丞相	出世者	悲酸	神璽	府生	府生	炎焼	善政	六勝寺	鴈山	影南山	清暑堂	當殿	回立殿	嫡々	還着	〈強縁い（きやうはう）〉	神器	一人當千	詮真	清暑堂	牛車	艟船	通親	すわい	とうとう
(3下)	(7下)	(12下その他)	(10上)	(12上)	(5下)	(10上)	(5上)	(1上)	(4下)	(3上)	(3上)	(6上)	(6上)	(6上その他)	(10上)	(6下)	(3下)	(7下)	(6上)	(6下)	(6上)	(10下)	(14上)	(5上)	(5下その他)	(4上)	(4下その他)	(6上)	(1上)	(2下)	(3上)	(7下)	(7上)

髪	君	口		島	津		原	閑	か	け	し
尾髪	和君	乗口	諸口	水島	追津	志津原	篠原	等閑（ナヲザリ）	さかぐし	突け	いちじるし
(17上その他)	(14下)	(1下)	(1下)	(3下)	(12下)	(7上)	(10下)	(10上)	(5上)	(9上)	(12下)

〈ツメ〉

〔I〕

漢語及び和語／諸本		孔雀経〔雀〕	刻々〔刻〕	七世〔七〕	得脱し〔脱〕	浄刹を〔刹〕	念仏を〔仏〕	呂律を〔律〕	諸仏は〔仏〕	菩薩は〔薩〕	成仏得脱〔仏〕	念仏百遍〔仏〕	源八広綱〔八〕	九月十三日〔月〕	五月七日〔月〕	三月二十八日〔月〕	二月七日〔月〕	毎月朔日〔月〕	六月九日〔月〕	念仏〔仏〕	公達達〔達〕
尾崎本		○(1)	○(1)	○(1)	○(1)	○(1)	○(5)	○(1)	○(1)	○(1)	○(1)	○(1)	○(1)	○(1)	○(1)	○(1)	○(1)	○(1)	○(1)	○(1)	○(3)
京大本	墨	○(1)	×	×	×	×	○(2)	×	○(1)	×	×	○(1)	×	×	○(1)	○(1)	○(1)	×	○(1)	×	○(3)
	朱	×	○(1)	○(1)	○(1)	○(1)	○(2)	○(1)	×	○(1)	○(1)	×	○(1)	○(1)	×	×	×	○(1)	×	○(1)	×
九大本		○〈1〉	○〈1〉	○〈1〉	○〈1〉	○〈1〉	○〈5〉	○〈1〉	○〈1〉	○〈1〉	○〈1〉	○〈1〉	○〈1〉	○〈1〉	○〈1〉	○〈1〉	○〈1〉	○〈1〉	○〈1〉	○〈1〉	○〈17〉

〔II〕

口惜しさ〔し〕	白雪〔雪〕	悲しさ〔し〕	御骨を〔骨〕	孔雀経〔雀〕	刻々〔刻〕	七世〔七〕	得脱し〔脱〕
○(1)	○(1)	○(1)	○(1)	○(1)	○(1)	○(1)	○(1)
×	×	×(京)	×	×(京)	×	×	×
×	×	×(京)	×(京)	×	×(京)	×(京)	×(京)
○〈1〉	○〈1〉	○〈8〉	○〈1〉	○〈1〉	○〈1〉	○〈1〉	○〈1〉

浄刹を〔刹〕	念仏を〔仏〕	呂律を〔律〕	諸仏は〔仏〕	菩薩は〔薩〕	成仏得脱〔仏〕	念仏百遍〔仏〕	源八広綱〔八〕	九月十三日〔月〕	五月七日〔月〕	三月二十八日〔月〕	二月七日〔月〕	毎月朔日〔月〕	六月九日〔月〕	念仏〔仏〕	公達達〔達〕
○(1)	○(5)	○(1)	○(1)	○(1)	○(1)	○(1)	○(1)	○(1)	○(1)	○(1)	○(1)	○(1)	○(1)	○(1)	○(3)
×	×(京)	×	×(京)	×	×	×(京)	×	×	×(京)	×(京)	×(京)	×	×(京)	×	×(京)
×(京)	×(京)	×(京)	×	×(京)	×(京)	×	×(京)	×(京)	×	×	×	×(京)	×	×(京)	×
○〈1〉	○〈5〉	○〈1〉	○〈1〉	○〈1〉	○〈1〉	○〈1〉	○〈1〉	○〈1〉	○〈1〉	○〈1〉	○〈1〉	○〈1〉	○〈1〉	○〈1〉	○〈1〉

〔III〕

一条〔条〕	伎楽歌〔楽〕	謙徳公〔徳〕	左史生〔史〕	七廻〔七〕	出離〔出〕	読経〔読〕	八弘誓〔八〕	宝物集〔物〕	六観音〔六〕	三日〔三〕	嬉しさ〔し〕	怖しさ〔し〕	苦しさ〔し〕	恥がましさ〔し〕	無骨さ〔骨〕
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
×	○※(1)	○(1)	×	×	×	×	○(1)	○(1)	○(1)	×	○(2)	○(1)	○(2)	○(1)	○(1)
○(1)	○(1)	×	○(1)	○(1)	○(1)	○(1)	×	×	×	○(1)	○(3)	×	×	×	×
○〈1〉	○〈1〉	○〈1〉	○〈1〉	○〈1〉	○〈1〉	○〈1〉	○〈1〉	○〈1〉	○〈1〉	○〈1〉	○〈6〉	○〈1〉	○〈2〉	○〈1〉	○〈1〉

引率し〔率〕	見物し〔物〕	参列し〔列〕	念仏し〔仏〕	摩滅し〔滅〕	いくばくか〔く〕	黒帥を〔帥〕	一つと〔つ〕	陰陽術を〔術〕	官物を〔物〕	説を〔説〕	列を〔列〕	五節は〔節〕	名告る〔っ〕	名告ったれ〔っ〕	奉っし〔っ〕	黒がっし〔っ〕	参らっせ〔っ〕	打っ立って〔っ〕	引ったて〔っ〕	引っ切って〔っ〕	化仏菩薩〔仏〕	江帥匡房〔帥〕	真実報恩〔実〕	念仏衆生〔仏〕	念仏読経〔仏〕	長七唱〔七〕	九月二日〔月〕	九月四日〔月〕	九月十八日〔月〕	五月五日〔月〕	五月八日〔月〕	五月二十四日〔月〕	三月一日〔月〕
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
○	○※(1)	○(1)	○(6)	○(1)	○(1)	○(1)	○(1)	○(1)	×	○(1)	×	○(1)	○(1)	○(1)	○(1)	×	○(1)	×	○(1)	○(1)	○※(1)	○(1)	×	×	○(1)	○(2)	○(1)	○(1)	○(1)	○(1)	×	○(1)	○(1)
×	○(1)	×	○(1)	×	×	×	×	×	○(1)	×	○(1)	×	×	×	○(1)	○(1)	×	○(1)	×	×	×	×	○(1)	○(1)	×	×	○(1)	×	×	×	○(1)	×	×
○〈3〉	○〈1〉	○〈1〉	○〈7〉	○〈1〉	○〈1〉	○〈1〉	○〈1〉	○〈1〉	○〈1〉	○〈1〉	○〈1〉	○〈1〉	○〈1〉	○〈1〉	○〈3〉	○〈1〉	○〈3〉	○〈1〉	○〈1〉	○〈2〉	○〈1〉	○〈2〉	○〈1〉	○〈1〉	○〈1〉	○〈2〉	○〈2〉	○〈1〉	○〈1〉	○〈1〉	○〈1〉	○〈1〉	○〈2〉

三月二十四日〔月〕	三月十五日〔月〕	三月上旬〔月〕	四月七日〔月〕	四月三日〔月〕	四月十五日〔月〕	四月十七日〔月〕	七月九日〔月〕	七月下旬〔月〕	十月一日〔月〕	十月三日〔月〕	十月十六日〔月〕	十一月一日〔月〕	十一月十一日〔月〕	十一月十二日〔月〕	十一月十九日〔月〕	十二月二十二日〔月〕	十二月二十四日〔月〕	十二月十六日〔月〕	正月一日〔月〕	正月五日〔月〕	正月六日〔月〕	二月二日〔月〕	二月二十日〔月〕	二月下旬〔月〕	八月一日〔月〕	八月二日〔月〕	八月十日〔月〕	八月七日〔月〕	八月十二日〔月〕	八月十七日〔月〕	六月一日〔月〕	六月二日〔月〕	衣鉢〔鉢〕
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
○(1)	○(2)	○(1)	○(1)	○(1)	×	○(1)	○(2)	○(1)	○(1)	○(1)	○(2)	○(1)	×	○(1)	○(1)	○(1)	○(1)	○(1)	○(2)	○(3)	○(1)	○(1)	○(2)	○(1)	×	○(1)	○(1)	○(1)	○(1)	○(1)	○(2)	○(1)	×(1)
×	×	×	×	×	○(1)	×	○(1)	×	×	×	×	×	○(1)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○(1)	×	×	×	○(1)	×	×	×	○
○〈1〉	○〈3〉	○〈1〉	○〈1〉	○〈1〉	○〈1〉	○〈1〉	○〈3〉	○〈1〉	○〈1〉	○〈1〉	○〈2〉	○〈1〉	○〈1〉	○〈1〉	○〈1〉	○〈1〉	○〈1〉	○〈1〉	○〈2〉	○〈3〉	○〈1〉	○〈1〉	○〈3〉	○〈1〉	○〈1〉	○〈1〉	○〈1〉	○〈1〉	○〈2〉	○〈1〉	○〈2〉	○〈1〉	○〈1〉

日月〔月〕	×	×	○(1)	○<1>
節〔節〕	×	○(1)	×	○<1>
得仏〔仏〕	×	○(1)	×	○<1>
白髪〔髪〕	×	○(1)	×	○<1>
毎月〔月〕	×	○(2)	×	○<2>
柳髪〔髪〕	×	○(1)	×	○<1>
公運達〔達〕	×(尾)	○(3)	×	○<17>
孔雀経〔雀〕	×(尾)	○(1)	×	○<1>
刻々〔刻〕	×(尾)	×	○(1)	○<1>
七世〔七〕	×(尾)	×	○(1)	○<1>
あさましさ〔し〕	×(尾)	○(2)	×	○<2>
悲しさ〔し〕	×(尾)	○(7)	×	○<8>
得脱し〔脱〕	×(尾)	×	○(1)	○<1>
御骨を〔骨〕	×(尾)	×	○(1)	○<3>
骨を〔骨〕	×(尾)	○(1)	×	○<4>
浄刹を〔刹〕	×(尾)	×	○(1)	○<1>
念仏を〔仏〕	×(尾)	○(2)	○(2)	○<5>
呂律を〔律〕	×(尾)	×	○(1)	○<1>
諸仏は〔仏〕	×(尾)	○(1)	×	○<1>
菩薩は〔薩〕	×(尾)	×	○(1)	○<1>
念仏白遍〔仏〕	×(尾)	○(1)	×	○<1>
源八広綱〔八〕	×(尾)	×	○(1)	○<1>
九月十三日〔月〕	×(尾)	×	○(1)	○<1>
五月七日〔月〕	×(尾)	○(1)	×	○<1>
五月二十一日〔月〕	×(尾)	○(1)	×	○<1>
三月二十八日〔月〕	×(尾)	○(1)	×	○<1>
二月七日〔月〕	×(尾)	×	○(1)	○<1>
毎月朔日〔月〕	×(尾)	○(1)	×	○<1>
六月九日〔月〕	×(尾)	×	○(1)	○<1>
念仏〔仏〕	×(尾)	○(1)	×	○<1>

〔Ⅳ〕

鬱使〔鬱〕	○(1)	○(1)	×	×
仏照〔仏〕	○(1)	×	○(1)	×
法親王〔法〕	○(1)	○(1)	×	×
法施〔法〕	○(1)	○(1)	×	×
あさましさ〔し〕	○(1)	○(1)	×	×(九)
騒がしさ〔し〕	○(1)	○(1)	×	×
供仏を〔仏〕	○(1)	○(1)	×	×
節を〔節〕	○(1)	×	○(1)	×
北闕を〔闕〕	○(1)	×	○(1)	×
引っ剝ぎ〔っ〕	○(1)	×	○(1)	×
霊仏霊神〔仏〕	○(1)	×	○(1)	×
正月十三日〔月〕	○(1)	○(1)	×	×
菩薩〔薩〕	○(1)	×	○(1)	×(九)
奉つし〔つ〕	○(1)	○(1)	×	×(九)

〔Ⅴ〕

漢語及び和語	巻
解脱谷〔脱〕	(6上)
乞骸人〔乞〕	(6下)
雑袍〔雑〕	(7上)
末法〔末〕	(8下)
列参〔列〕	(3上)
追出せ〔出〕	(5上その他)
追討す〔討〕	(12下)
節と〔節〕	(4下)
供御を〔御〕	(10上)
良粥を〔粥〕	(8上)
有て〔有〕	(4上)
鳴て〔鳴〕	(3下)
振しかば〔振〕	(4下)
なつく〔な〕	(14下)
立て〔立〕	(3上その他)
追下さる〔追〕	(6下)
追籠〔追〕	(10上)
よつひて〔よ〕	(15下)
顕密兼学〔密〕	(11下)
菩薩浄戒〔薩〕	(11下)
監物太郎〔物〕	(7下その他)
九月二十二日〔月〕	(3下)
九月二十四日〔月〕	(10上)
五月十二日〔月〕	(9上)
三月十五日〔月〕	(2下)
三月十六日〔月〕	(3上)
四月十三日〔月〕	(9上)
七月十六日〔月〕	(6下)
七月三十日〔月〕	(3上)
十月四日〔月〕	(2下)
十一月十六日〔月〕	(5下)
二月三日〔月〕	(5下)
正月十日〔月〕	(5下)
二月二十九日〔月〕	(5上)
二月十七日〔月〕	(10下)
二月八日〔月〕	(12上)
二月二十日〔月〕	(11下)
八月十九日〔月〕	(11下)
毎月十四日〔月〕	(5上)
八月二十三日〔月〕	(4下その他)
六月十五日〔月〕	(5上)
白月〔月〕	(12上)

〈ノム〉

〔Ⅰ〕

漢語及び和語＼諸本	尾崎本	京大本 墨	京大本 朱	九大本
血脈〔血〕	○(1)	○(1)	×	○<1>
七条〔七〕	○(2)	○(2)	×	○<9>
八条〔八〕	○(4)	○(4)	×	○<25>
仏寺〔仏〕	○(1)	×	○(1)	○<1>
仏事〔仏〕	○(1)	○(1)	×	○<1>
帝闕に〔闕〕	○(1)	○(1)	×(1)	○<1>
蓬草に〔草〕	○(1)	○(1)	×(1)	○<1>
鴬舌の〔舌〕	○(1)	×	○(1)	○<1>
一日の〔日〕	○(1)	○(1)	×	○<1>
木津の〔津〕	○(1)	×	○(1)	○<1>
別の〔別〕	○(1)	○(1)	×	○<4>
正月も〔日〕	○(1)	×	○(1)	○<1>
幽窟なり〔窟〕	○(1)	○(1)	×	○<1>
弥陀仏〔仏〕	○(1)	×	○(1)	○<1>

〔Ⅱ〕

仏神〔仏〕	○(1)	×	×	○<1>
十月の〔月〕	○(1)	×	×	○<1>
九月も〔月〕	○(1)	×	×	○<1>
格別なり〔別〕	○(1)	×	×	○<1>
血脈〔血〕	○(1)	×(京)	×	○<1>
七条〔七〕	○(2)	×(京)	×	○<9>
八条〔八〕	○(4)	×(京)	×	○<25>
仏寺〔仏〕	○(1)	×	×(京)	○<1>
仏事〔仏〕	○(1)	×(京)	×	○<1>
帝闕に〔闕〕	○(1)	×(京)	×	○<1>
蓬草に〔草〕	○(1)	×(京)	×	○<1>
鴬舌の〔舌〕	○(1)	×	×(京)	○<1>
一日の〔日〕	○(1)	×(京)	×	○<1>
木津の〔津〕	○(1)	×	×(京)	○<1>
別の〔別〕	○(1)	×(京)	×	○<4>
幽窟なり〔窟〕	○(1)	×(京)	×	○<1>
弥陀仏〔仏〕	○(1)	×	×(京)	○<1>

〔Ⅲ〕

暗穴道〔穴〕	×	○(1)	○(1)	○<2>
吉上(丈)〔吉〕	×	○(1)	×	○<1>
結願〔結〕	×	○(3)	×	○<3>
乞食〔乞〕	×	○(1)	×	○<4>
日月〔日〕	×	○(1)	×	○<1>
疾疫〔疾〕	×	○(1)	×	○<1>
出御〔出〕	×	○(1)	○(1)	○<2>
出入〔出〕	×	×	○(2)	○<2>
設我〔設〕	×	○(1)	×	○<1>
節下〔節〕	×	×	○(1)	○<1>
大仏殿〔仏〕	×	○(3)	○(1)	○<4>
仏前〔仏〕	×	○(1)	×	○<1>
仏陀〔仏〕	×	○(2)	○(3)	○<5>
別業〔別〕	×	×	○(1)	○<1>
蔑如〔蔑〕	×	×	○(1)	○<1>
別段〔別〕	×	○(1)	×	○<1>
末寺〔末〕	×	○(1)	○(1)	○<2>
末代〔末〕	×	○(6)	○(1)	○<8>
滅罪〔滅〕	×	○(1)	×	○<1>
滅七〔滅〕	×	○(2)	×	○<3>
木津川〔津〕	×	○(1)	×	○<1>
庵室に〔室〕	×	○(1)	×	○<1>
飢渇に〔渇〕	×	○(1)	×	○<1>
記列に〔列〕	×	○(1)	×	○<1>
御出に〔出〕	×	○(1)	○(1)	○<2>
五月に〔月〕	×	○(1)	×	○<1>
五節に〔節〕	×	○(1)	×	○<1>
三月に〔月〕	×	○(1)	×	○<1>
七月に〔月〕	×	○(3)	×	○<3>
十月に〔月〕	×	×	○(1)	○<1>
正月に〔月〕	×	○(1)	×	○<1>
焼失に〔失〕	×	○(1)	×	○<1>
大切に〔切〕	×	○(2)	×	○<2>
反別に〔別〕	×	○(1)	×	○<1>
念仏に〔仏〕	×	×	○(1)	○<1>
八月に〔月〕	×	○(1)	×	○<2>
別に〔別〕	×	×	○(1)	○<1>
菩薩に〔薩〕	×	○(1)	×	○<1>
明月に〔月〕	×	○(1)	×	○<1>
木津に〔津〕	×	○(1)	×	○<1>
庵室の〔室〕	×	×(1)	○	○<1>
右筆の〔筆〕	×	○(1)	×	○<1>
御出の〔出〕	×	○(1)	×	○<1>
顕密の〔密〕	×	×(1)	○	○<1>
五節の〔節〕	×	×(1)	○	○<1>
黒月の〔月〕	×	×	○(1)	○<1>
黒漆の〔漆〕	×	○	○(1)	○<2>
七月の〔月〕	×	○(1)	×	○<1>
日月の〔月〕	×	○(1)	×	○<1>
帥の〔帥〕	×	○(4)	×	○<5>
即闕の〔闕〕	×	○(1)	×	○<1>
夕日の〔日〕	×	×	○(1)	○<1>
大物の〔物〕	×	○(3)	×	○<3>
念仏の〔仏〕	×	○(1)	×	○<2>
櫃の〔櫃〕	×	×	○(1)	○<1>
菩薩の〔薩〕	×	○(2)	×	○<2>
無実の〔実〕	×	○(2)	×	○<2>
帝闕も〔闕〕	×	○(1)	×	○<1>
調達が〔達〕	×	×(1)	○	○<1>
五節ばかり〔節〕	×	×	○(1)	○<1>
骨や〔骨〕	×	○(1)	×	○<1>
五月より〔月〕	×	○(1)	×	○<2>
菩薩より〔薩〕	×	○(1)	×	○<1>
見物なり〔物〕	×	×	○(1)	○<1>

不吉なり〔吉〕	×	○(1)	×	○〈1〉
無実なり〔実〕	×	○(1)	×	○〈1〉
切なる〔切〕	×	○(2)	×	○〈3〉
一日万機〔日〕	×	○(1)	×	○〈1〉
顕密両宗〔密〕	×	×	○(1)	○〈1〉
七仏薬師〔仏〕	×	○	×(1)	○〈1〉
星宿仏菩薩〔仏〕	×	○(1)	×	○〈1〉
権帥季仲〔帥〕	×	○※(2)	○(1)	○〈2〉
大仏詣て〔仏〕	×	○(1)	×	○〈1〉
悶絶躃地〔絶〕	×	○(1)	×	○〈1〉
円実法眼〔実〕	×	×	○(1)	○〈1〉
七月二十五日〔月〕	×	○(1)	×	○〈1〉
逸物〔物〕	×	○(1)	×	○〈1〉
念仏〔仏〕	×	○(3)	×	○〈5〉
彭越〔越〕	×	×	○(1)	○〈1〉
血脈〔血〕	×(尾)	○(1)	×	○〈1〉
七条〔七〕	×(尾)	○(2)	×	○〈9〉
八条〔八〕	×(尾)	○(4)	×	○〈25〉
仏寺〔仏〕	×(尾)	×	○(1)	○〈1〉
仏事〔仏〕	×(尾)	○(1)	×	○〈1〉
帝闕に〔闕〕	×(尾)	○(1)	×	○〈1〉
蓬草に〔草〕	×(尾)	○(1)	×	○〈1〉
鶯舌の〔舌〕	×(尾)	×	○(1)	○〈1〉
一日の〔日〕	×(尾)	○(1)	×	○〈1〉
木津の〔津〕	×(尾)	×	○(1)	○〈1〉
別の〔別〕	×(尾)	○(1)	×	○〈4〉
正月も〔月〕	×(尾)	×	○(1)	○〈1〉
幽窟なり〔窟〕	×(尾)	○(1)	×	○〈1〉
弥陀仏〔仏〕	×(尾)	×	○(1)	○〈1〉

〔Ⅳ〕

蘇悉地経〔悉〕	○(1)	×	○(1)	×
仏物〔仏〕	○(1)	○(1)	×	×
吉に〔吉〕	○(1)	×	○(1)	×
蛍雪の〔雪〕	○(1)	○(1)	×	×
諸仏も〔仏〕	○(1)	×	○(1)	×
悉太〔悉〕	○(1)	○(1)	×	×

〔Ⅴ〕

漢語と和語	巻
御剱〔御〕	(12上)
火穴湯〔穴〕	(8上)
橘内〔橘〕	[illegible]
設入〔設〕	(5上)
畢命〔畢〕	(8下)
持律の〔律〕	(11下)
大仏の〔仏〕	(7下)
半日の〔日〕	(3上)
山がつの〔つ〕	(3上)
利物の〔物〕	(11上)
御出なる〔出〕	(16上)
大切なれ〔切〕	(14下)
発願〔発〕	(5上)
二月に〔月〕	(5下)
諸仏に〔仏〕	(8下)
帥に〔帥〕	(10上)
三密行法〔密〕	(4上)
供仏施僧〔仏〕	(12下)
生者必滅〔必〕	(7下)
三月八日〔月〕	(6上)
解脱〔脱〕	(5上)
諸仏〔仏〕	(5上)
五節〔節〕	(2上)
鳳闕〔闕〕	(13上)
生者必滅〔滅〕	(7下)

発音注記対照表より、〔Ⅲ〕に多くの一致を見ることができる。つまり、発音注記から見た場合、九大本は京大本と重なるものを多く有している。このことは、朱筆の節ハカセからも窺知される。例えば、巻一上で九大本・京大本には左に朱筆、尾崎本には存しないものとして次のようなものがある。

○花咲実なるとこそ（九京・左朱）↓（尾28 4・ナシ）

○保元平治（九・左朱）↓（京「元」左朱）↓（尾35 1「元」・ナシ）

○詠めて帰る（九京・左朱）↓（尾44 2・ナシ）

○都に残る（九・京・左朱）↓（尾44 2「に」・ナシ）

○蓬生（九・京・左朱）↓（尾45 1 ナシ）

○風すさまし（九・京・左朱）↓（尾49 2・ナシ）

◊却て（九・左朱）↓（京・ナシ）↓（尾50 3・同）

▿尾崎本は大学堂書店刊影印本の頁数を示す。

以上筆者なりに九大本に豊富に存する発音注記のうち「スム・ツメ・ノム」について整理した。発音注記に関する限りにおいては、九大本は京大本系統の譜本に近い関係にありそうである。注(5) しかし、このことについては、今後、詞章、節ハカセなどいろいろな面からの詳しい検討をしていく必要があると思われる。

ともあれ、九大本はそれら発音注記の豊富さに加え、濁点符・濁音ガナもたくさん存していることなど、国語史を考える上で興味ある資料である。

【注】

(1) 大学堂書店刊（昭49年）影印本使用。

(2) 臨川書店刊（昭46年）影印本使用。

(3) 平曲譜本の発音注記については、奥村三雄氏『平曲譜本の研究』（昭56年桜楓社）第九章参照。尚、京大本、九大本には存する「ワル」注記が尾崎本には皆無のため、今回の報告からは除いた。

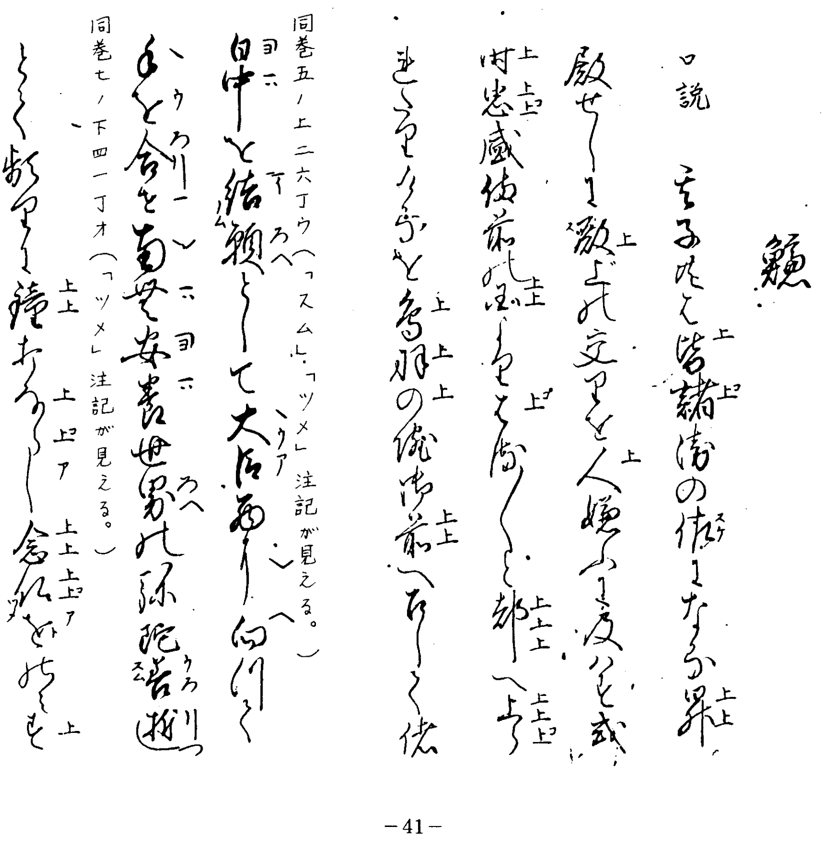
(4) ◦列挙順は注(3)の「発音注記一覧」に、又語の規定は『平家物語総索引』（金田一春彦氏等編本や笠栄治氏編本）によった。

◦京大本における朱筆等の加筆注記について、「朱筆の発音注記や譜記訂正など藤村氏の加筆より古いらしい注記がかなり存する」（『平曲譜本の研究』91頁）の記述があるが、筆者は、まだ京大本自体の朱・墨の性格といったものを十分に理解しきれないでいる故、一応朱筆と墨筆の区別を示すにとどめておく。尚、対照表で、九大本の「スム」注記は京大本の朱に、「ツメ・ノム」は墨に多くの一致を見るが、京大本では「スム」は朱、「ツメ・ノム」は墨で付されるものが絶対数として多いという理由で、その他の強い理由はなさそうである。

(5) 奥村先生は『平曲譜本の研究』（102・120頁）、「平曲譜本に反映したアクセント」（『国語と国文学』昭45年10月号）、京都大学蔵平曲正節（昭46年臨川書店刊）解題の注4などにおいて、九大本を尾崎本等の「平家正節」に準ずるものとお考えになっておられるようである。

——九州大学大学院修士課程——

九州大学文学部国語学国文学研究室所蔵『平語』巻一ノ上巻頭



同巻五ノ上二六丁ウ（「スム」・「ツメ」注記が見える。）

同巻七ノ下四一丁オ（「ツメ」注記が見える。）